

作成日：2023年 10月 28日

研究協力をお願い

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腰椎椎間板ヘルニアに対する経皮的椎間板摘出術の有効性・安全性の評価			
1．研究の対象および研究対象期間			
2018年1月1日から2023年9月30日に昭和大学病院附属東病院麻酔科で経皮的腰椎椎間板ヘルニア手術を行なった患者さん。			
2．研究目的・方法			
腰椎椎間板ヘルニアは患者のQOLを著しく低下させるため、適切な疼痛管理が必要となります。一般的な背部を展開する椎間板摘出術は、神経癒着、脊椎不安定性、その他の合併症のリスクがあり、その割合は8%から15.7%と報告されています。そのため、特に小さな椎間板ヘルニアに対しては、経皮的椎間板摘出術、経皮的コブレーション核形成術、化学溶解術などの低侵襲技術が、手術に代わる方法として開発されています。経皮的椎間板摘出術は、椎間板ヘルニア患者の腰痛管理に有効である可能性を示していますが、手術適応と予後に関する包括的な基準はまだ完全に解明されておらず、さらなる具体的なエビデンスが必要です。その手術適応と予後に関するエビデンスの確立のためカルテから得られたデータを比較して研究をします。			
3．研究期間			
昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年 12月 31日 日まで			
4．研究に用いる試料・情報の種類			
患者背景（性別、年齢、身長、体重）、原疾患名、腰椎の画像評価（レントゲン、CT、MRI）、QOLの評価			
5．外部への試料・情報の提供			
該当致しません。			
6．研究組織			
研究責任者	昭和大学医学部麻酔科学講座	昭和大学病院附属東病院	小林 玲音
研究分担者	昭和大学医学部麻酔科学講座		武富 麻恵
研究分担者	昭和大学医学部麻酔科学講座		原 詠子
研究分担者	昭和大学医学部麻酔科学講座		米良 仁志
研究分担者	昭和大学医学部麻酔科学講座		吉川 春花
研究分担者	昭和大学医学部麻酔科学講座		石川 正樹

研究分担者 昭和大学医学部麻酔科学講座

大江 克憲

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 昭和大学病院附属東病院

氏名：小林 玲音

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 0337848575（内線：3551）